

第1回 × 第2回 比較レポート

# 治療と仕事の 両立支援アンケート



2回の調査結果を全項目で並列比較。  
ガイドライン認知・制度整備・課題認識の変化を可視化する。

第1回

**n=88** / 2022.12-2023.01

第2回

**n=67** / 2024-2025

OVERVIEW

# 調査概要と読み方

全17項目を第1回・第2回で並列に比較。すべてのグラフは 第1回=ティール／第2回=アンバー の2色で統一。

第1回

88件

実施時期：2022年12月～2023年1月  
設問数：18項目（Q1～Q6-8 + 自由記述）

第2回

67件

追加設問：Q8 両立支援カード / Q9 R8年努力義務化 / Q12 臨床試験・治験  
設問数：23項目

HOW TO READ

- 第1回 (n=88)
- 第2回 (n=67)

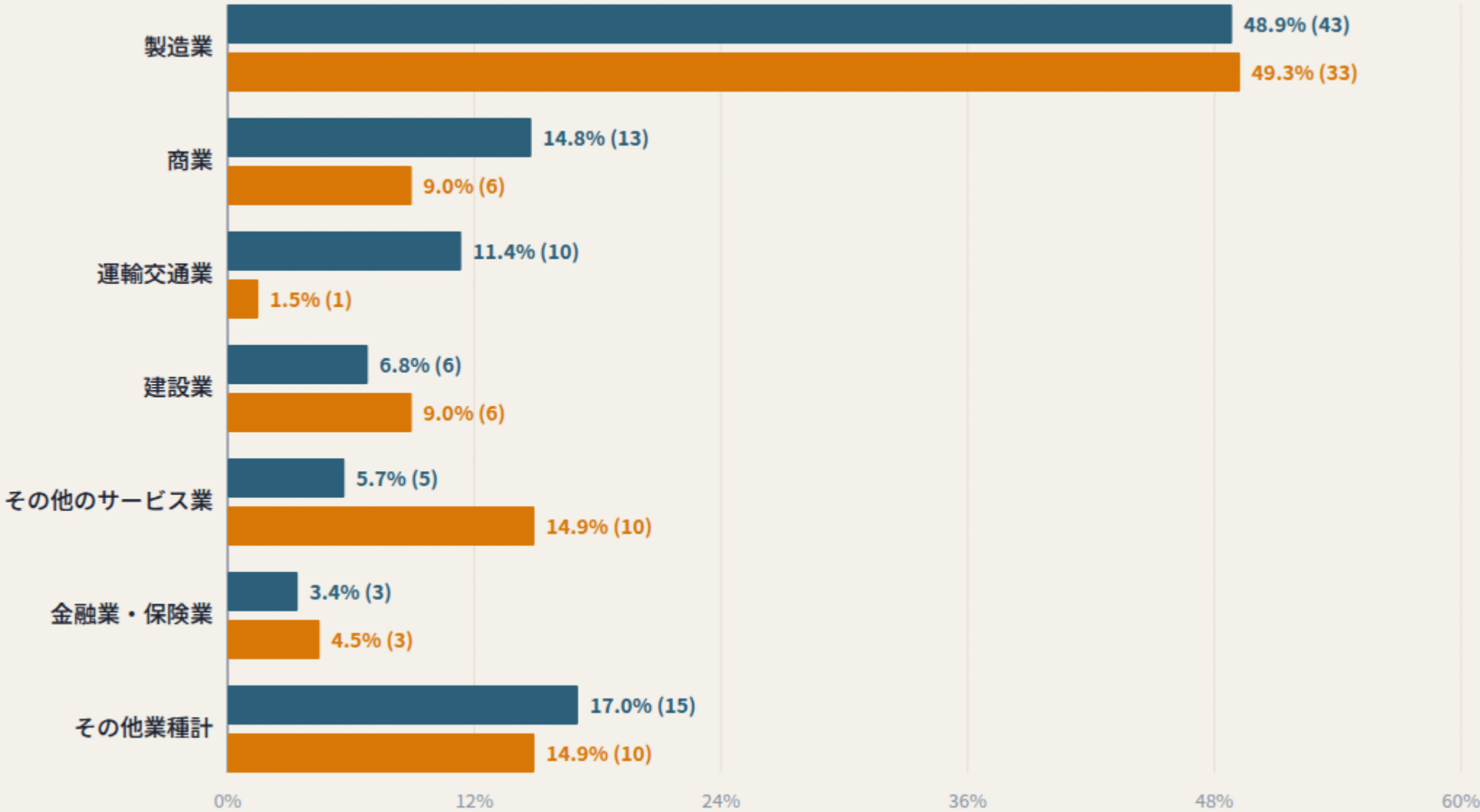
全グラフは回答者数に対する回答比率(%)で正規化。  
複数回答項目（業種・担当者・制度・課題）は選択数の合計を n で除算。単一回答項目は各選択肢の割合。  
値ラベル「〇〇.〇% (件数)」で件数も併記。

Q1 INDUSTRY

業種構成（複数回答可）

両調査とも 製造業が最多。第2回は「その他サービス業」比率が上昇し多様化が進んでいる。

第1回 n=88      第2回 n=67



KEY OBSERVATION

製造業依存から  
サービス業への広がり

製造業は第1回 48.9% → 第2回 49.3% とほぼ横ばい。

一方で「その他のサービス業」が 5.7% → 14.9% と約2.6倍に増加し、両立支援の関心がサービス業へ広がっていることが示唆される。

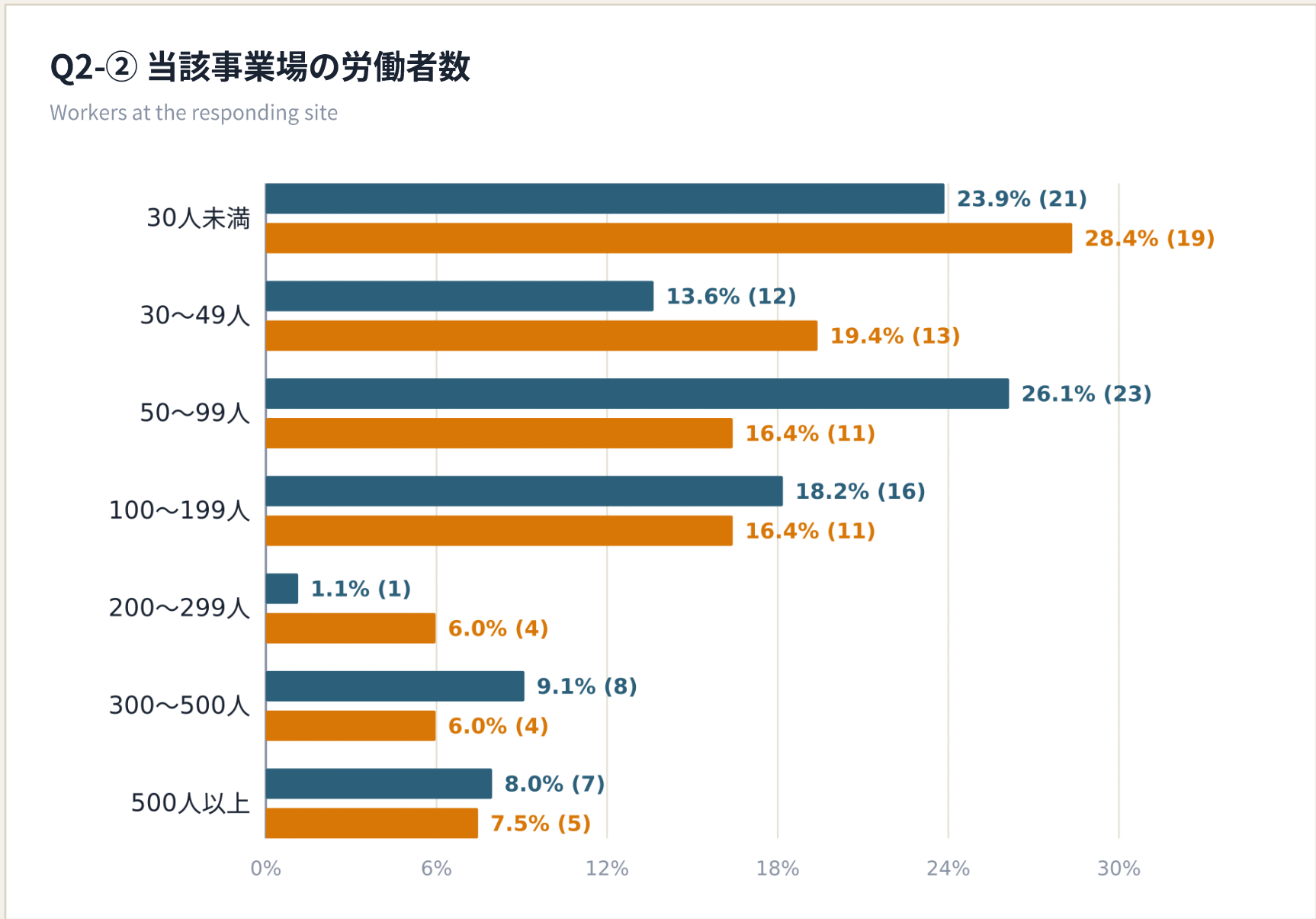
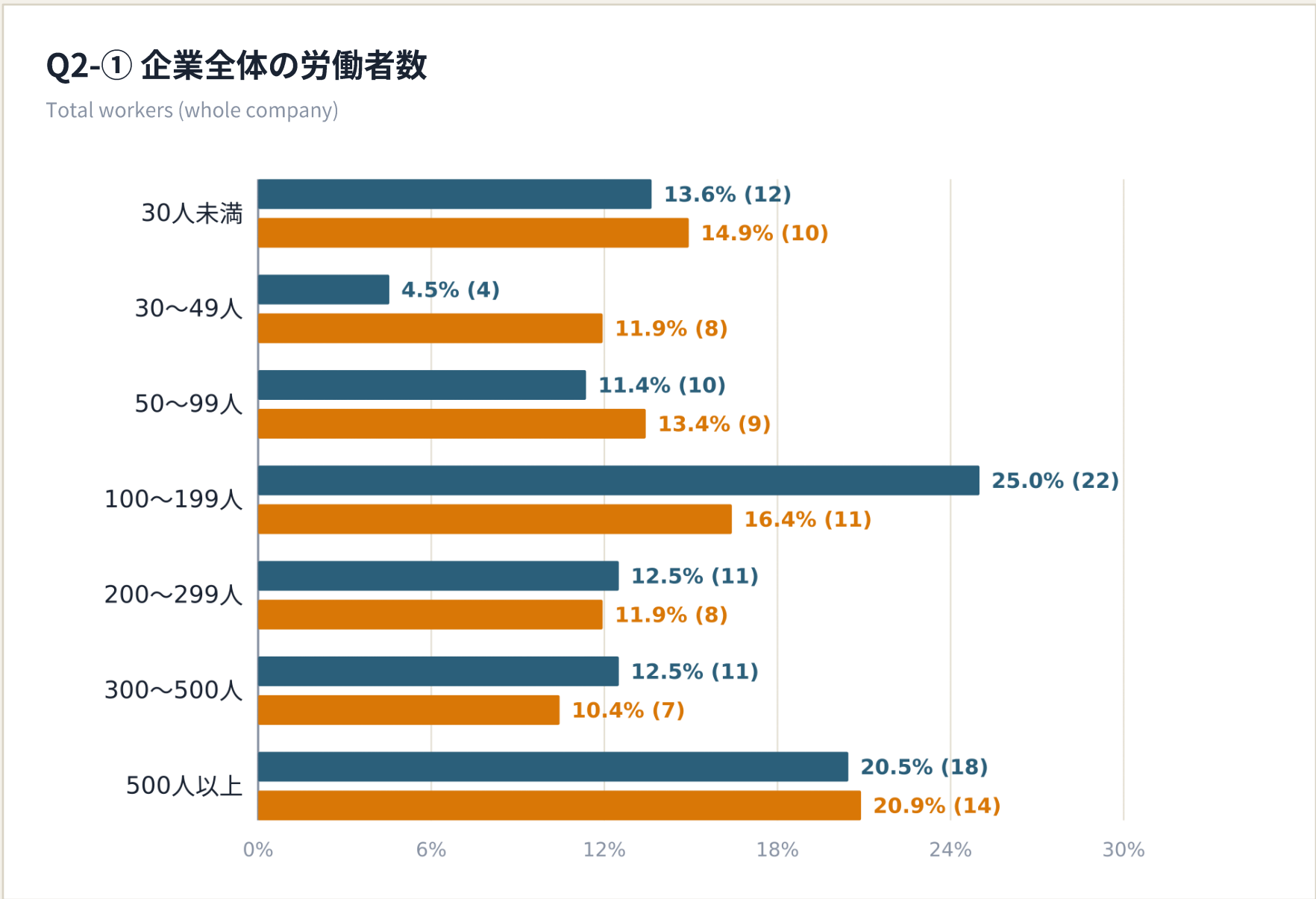
商業・運輸交通業は減少。少数業種（社労士事務所、情報通信業、JAコンサル等）が新たに参加。

Q2 WORKFORCE SIZE

事業場の労働者数

企業全体（左）と当該事業場（右）で規模分布を比較。第2回はより小規模事業場の参加が増加。

第1回 n=88      第2回 n=67

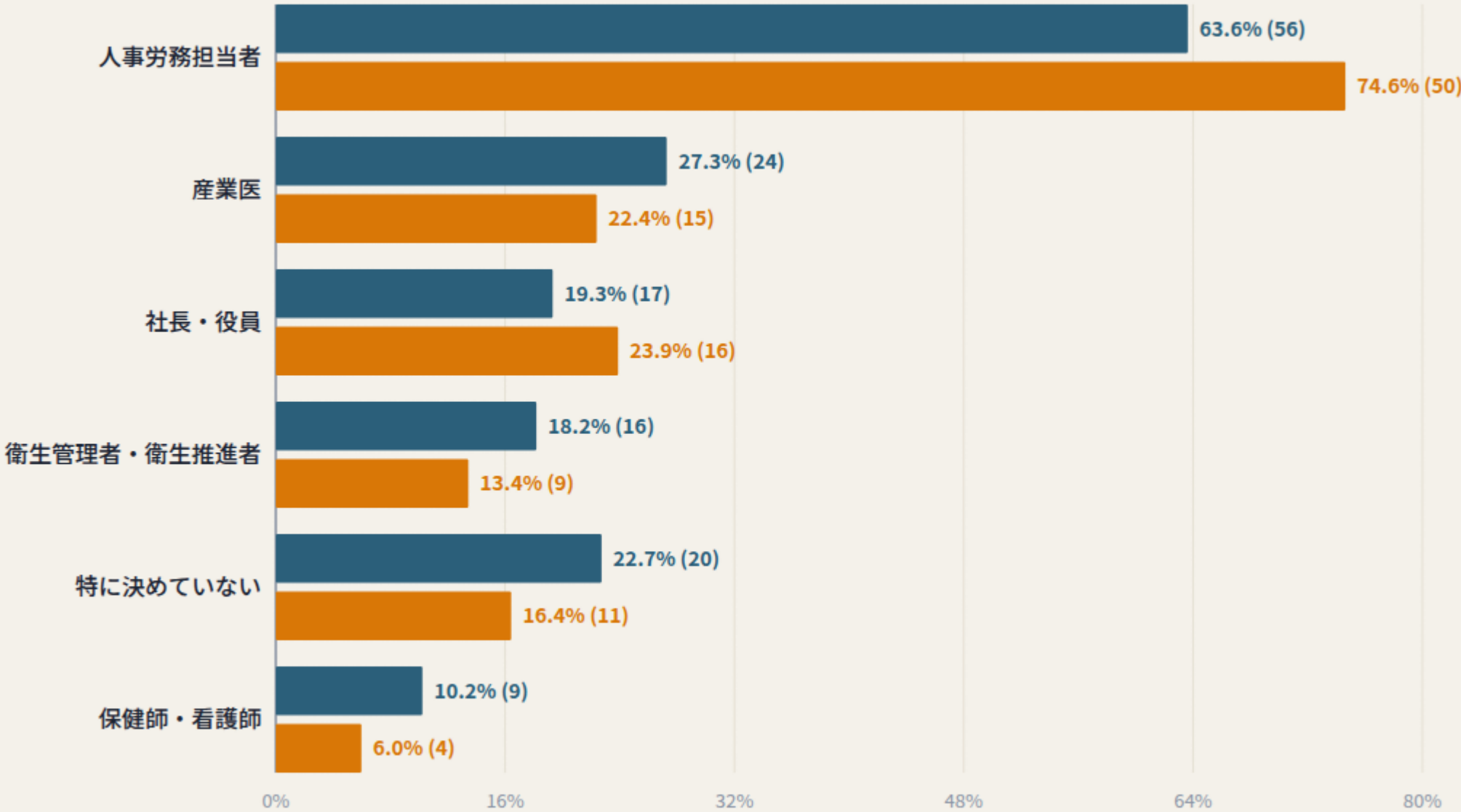


Q3 RESPONSIBLE STAFF

# 両立支援に係る担当者（複数回答可）

「人事労務担当者」が両調査で圧倒的トップ。「特に決めていない」の減少は体制整備の進展を示す。

第1回 n=88      第2回 n=67



KEY OBSERVATION

## 「特に決めていない」が大幅減少

「特に決めていない」は22.7% → 16.4%へ減少。多くの事業場で担当者が明確化されつつある。

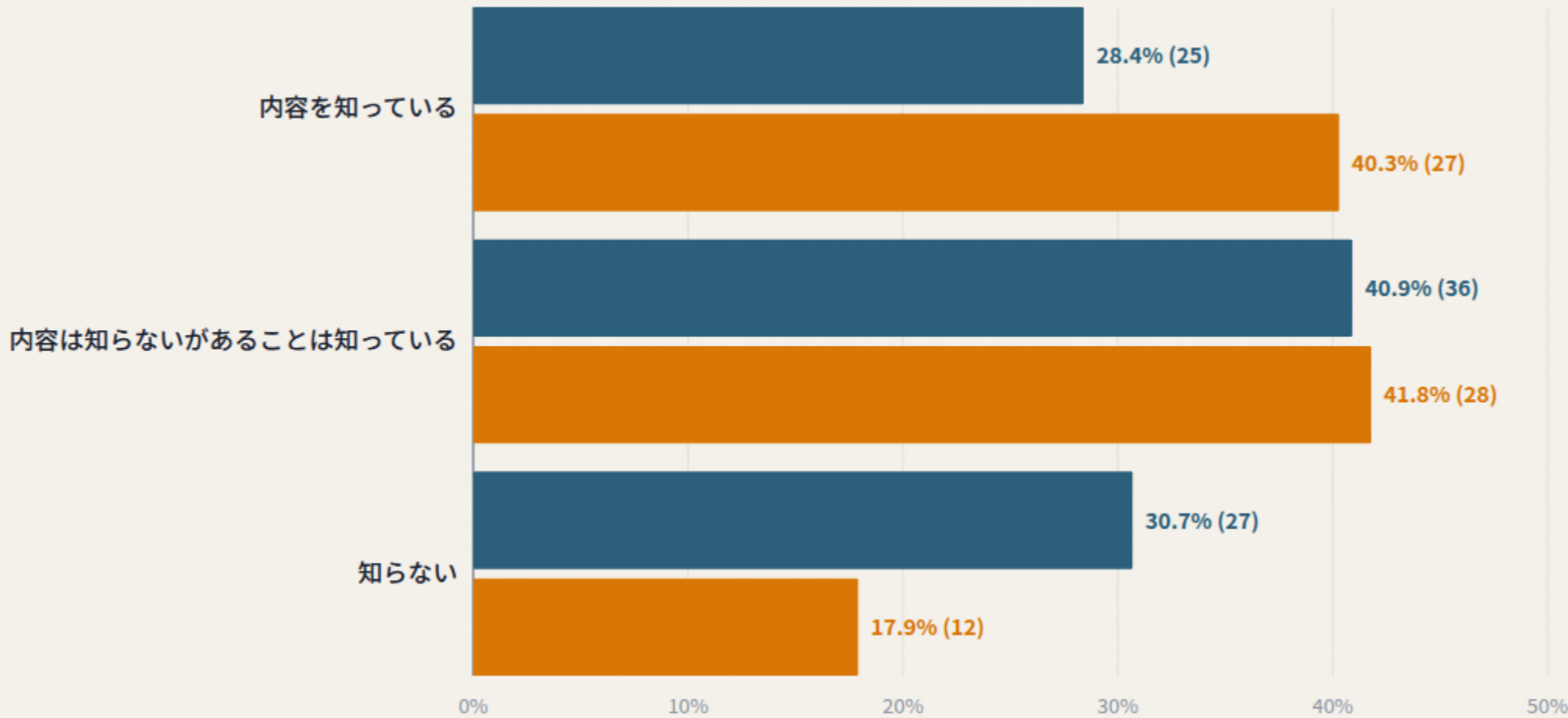
人事労務担当者への集中は継続（第1回63.6%→第2回74.6%）。産業医・衛生管理者の関与比率は微減し、人事部門主導で運用される実態が浮かぶ。

Q4 GUIDELINE AWARENESS

# 両立支援ガイドラインの認知度

「知らない」が30.7% → 17.9%に大幅改善。周知活動の成果が数値に表れている。

第1回 n=88      第2回 n=67



KEY CHANGE

「知らない」  
-12.8ポイント

第1回 30.7% → 第2回 17.9%

「内容を知っている」も28.4% → 40.3%と大きく上昇。  
ガイドラインの**実質理解**が広がっている。

INSIGHT

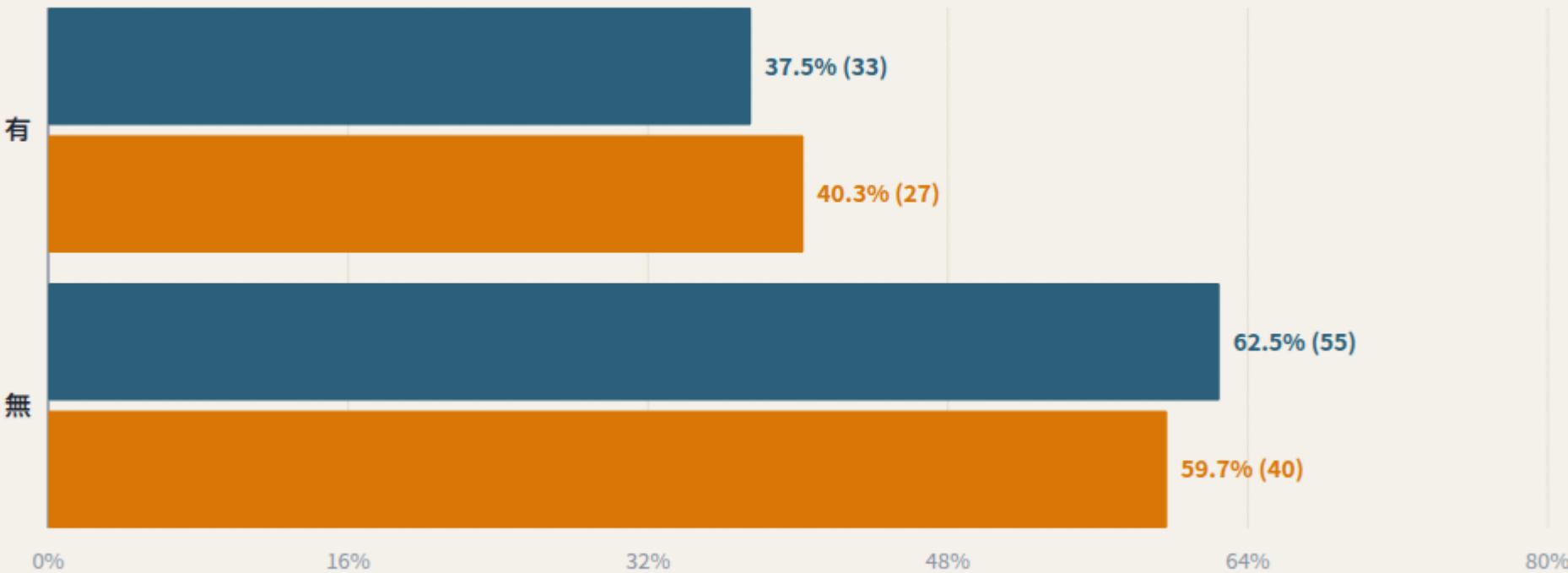
「知らない」を「内容を知っている」が上回ったのは第2回が初。ガイドラインの周知フェーズから**実装フェーズ**への移行が示唆される。

Q5 CONSULTATION EXPERIENCE

# 両立支援に係る相談を受けたことがあるか

「有」の比率が37.5% → 40.3%に上昇。相談実績のある事業場は約4割で推移。

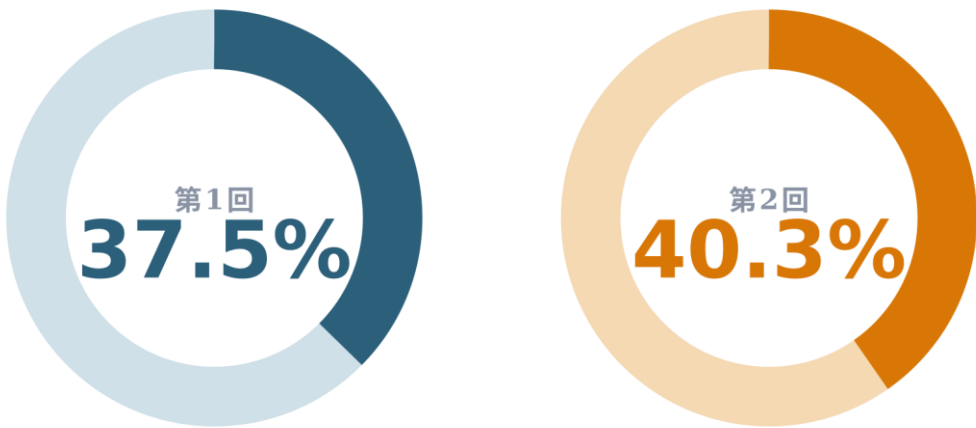
第1回 n=88      第2回 n=67



CONTEXT

第1回：有 33件 / 無 55件（有 37.5%）  
第2回：有 27件 / 無 40件（有 40.3%）  
件数自体は減少しているが、これは回答総数の減少（88→67件）による。比率で見ると相談経験は微増。

RATIO AT A GLANCE



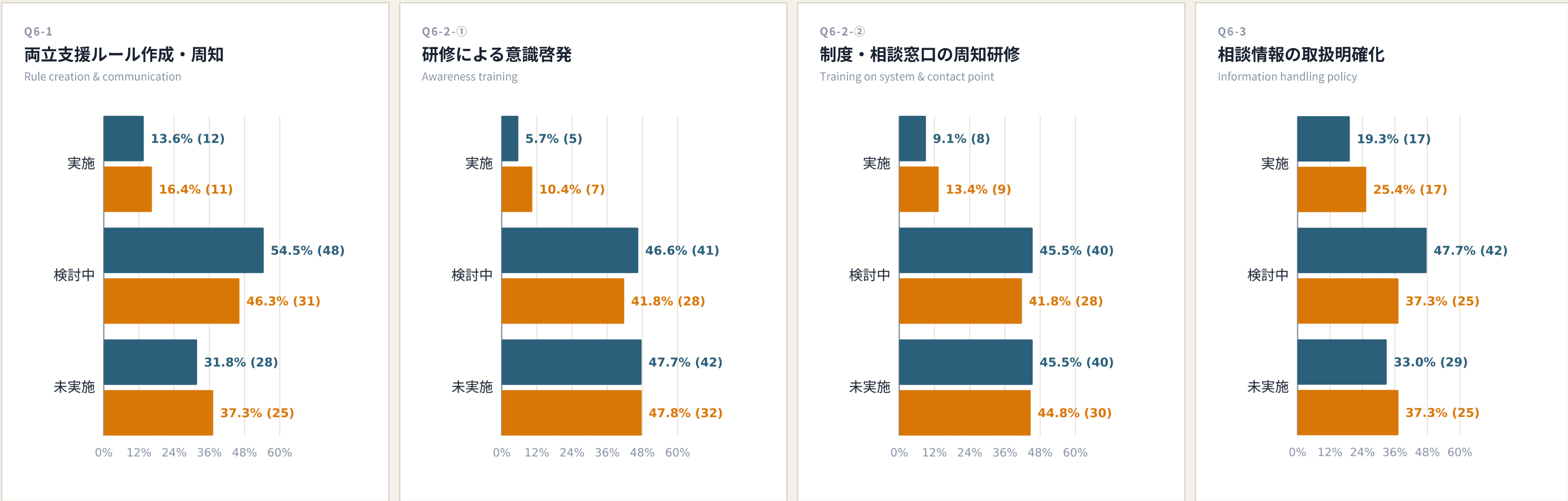
相談経験「有」の比率は微増（+2.8pt）。  
ガイドライン認知度の急伸に比べると、実相談の増加は緩やか。潜在ニーズは大きいが顕在化に至らないケースが依然多い可能性。

Q6-1 ～ Q6-3 RULES & TRAINING

ルール整備・研修・情報取扱

「未実施」比率がすべての設問で上昇。「検討中」の企業が実施 or 未実施に振り分けられた形。

第1回 n=88      第2回 n=67

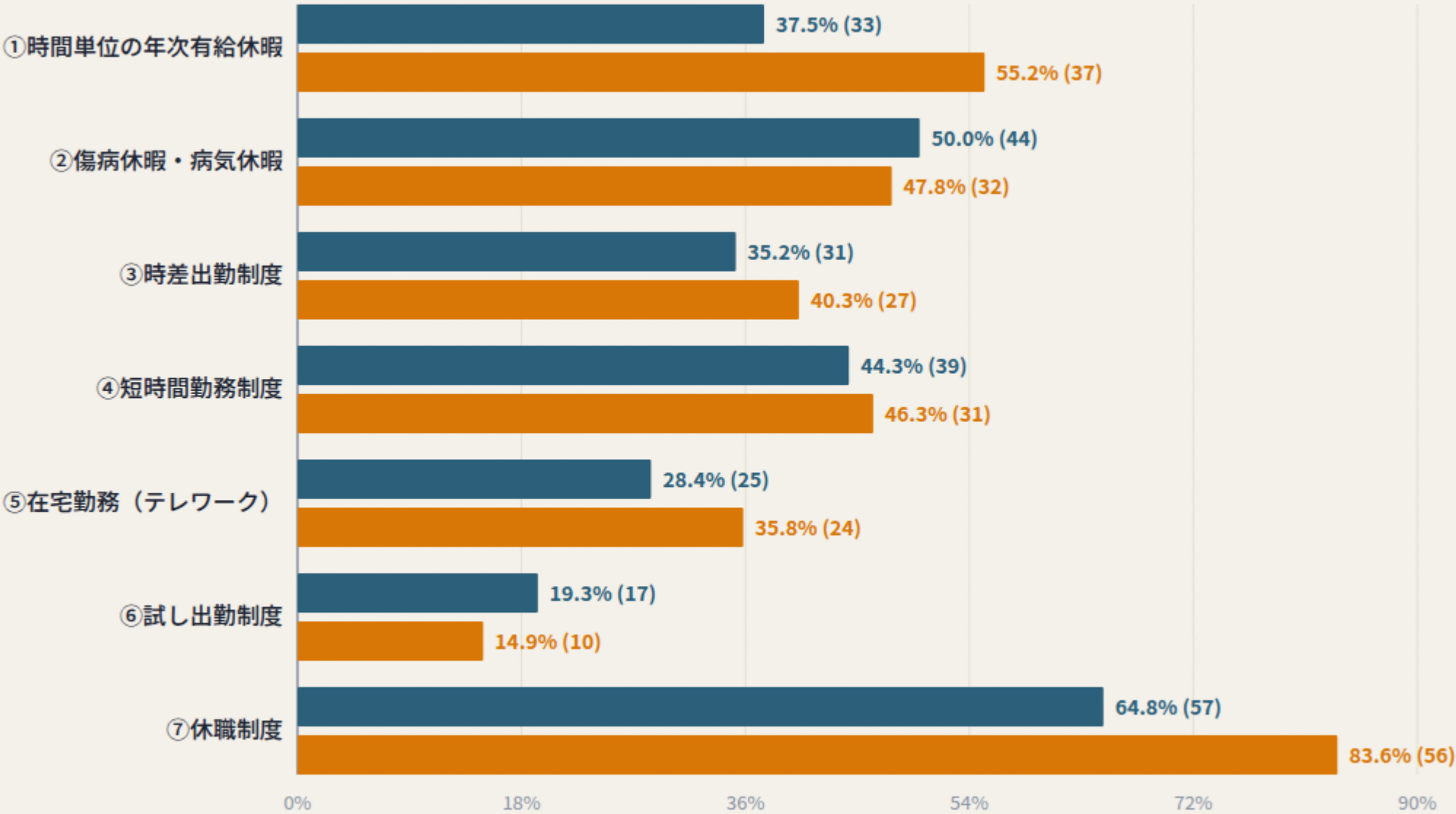


Q6-4-① LEAVE & WORK ARRANGEMENTS (CURRENT)

現在、実施している休暇・勤務制度（複数回答可）

「休職制度」が両調査で最多。「時間単位年休」比率は37.5% → 55.2%と大きく上昇。

第1回 n=88      第2回 n=67



KEY OBSERVATION

時間単位年休が普及フェーズへ

「①時間単位の年次有給休暇」  
37.5% → 55.2% (+17.7pt)

「⑦休職制度」は両回とも最多水準を維持（64.8% → 83.6%）。

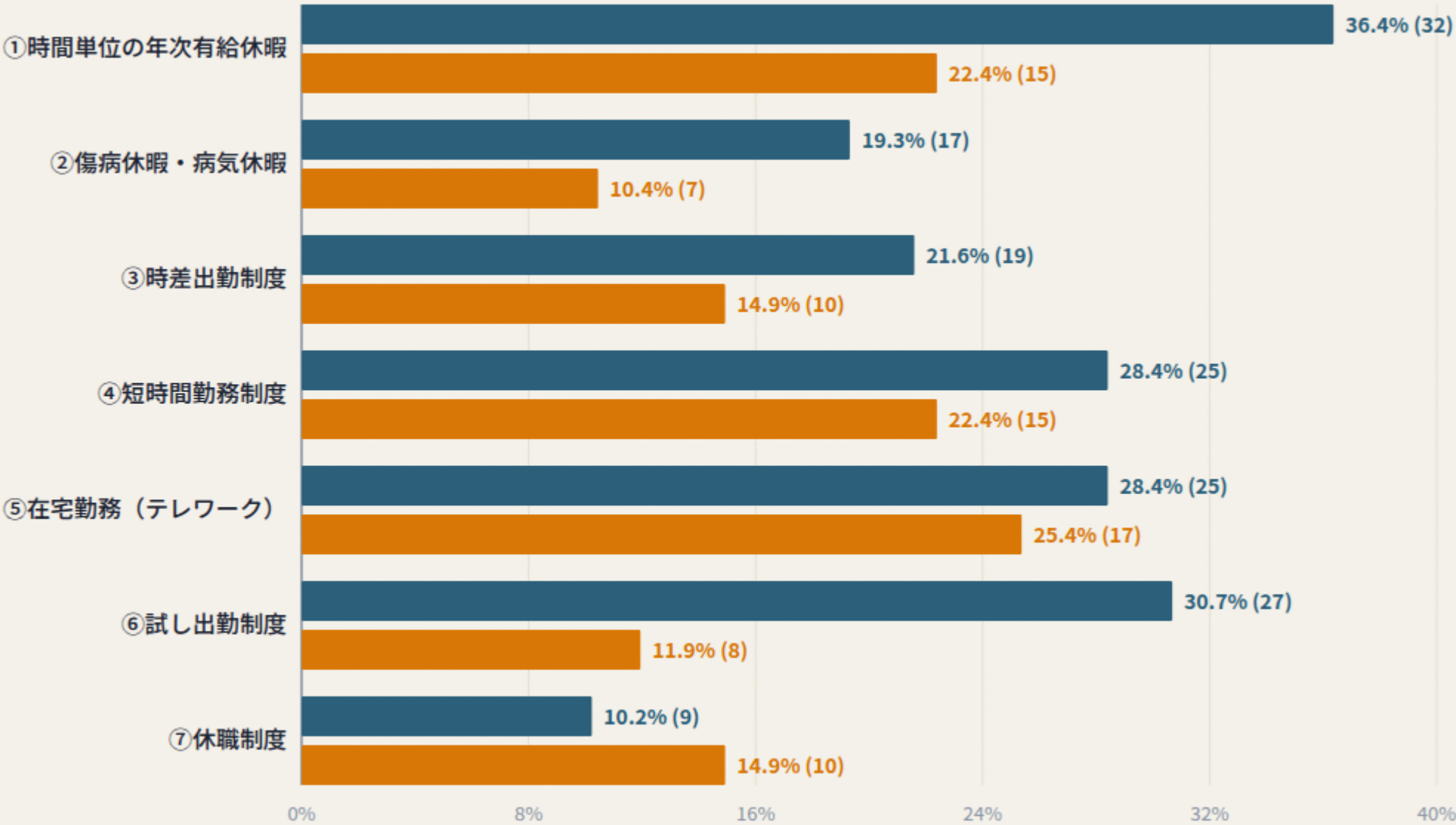
一方「⑥試し出勤制度」は19.3% → 14.9%と減少しており、実運用の難しさが窺える。

Q6-4-② LEAVE & WORK ARRANGEMENTS (PLANNED)

今後、導入を検討している制度（複数回答可）

全項目で第2回の比率が低下。第1回で「導入検討」だった制度が第2回では**実施済みへ移行**したと解釈できる。

第1回 n=88      第2回 n=67



KEY OBSERVATION

「導入検討」から「実施済」へ移行

全7項目で第2回の検討比率が低下。

特に「⑥ 試し出勤制度」は**30.7% → 11.9%**、「① 時間単位年休」は**36.4% → 22.4%**と大幅減。

Q6-4-①（現在実施）で時間単位年休が増加したこととあわせ、**検討ステージが実装ステージへ進んだ**ことを示唆。

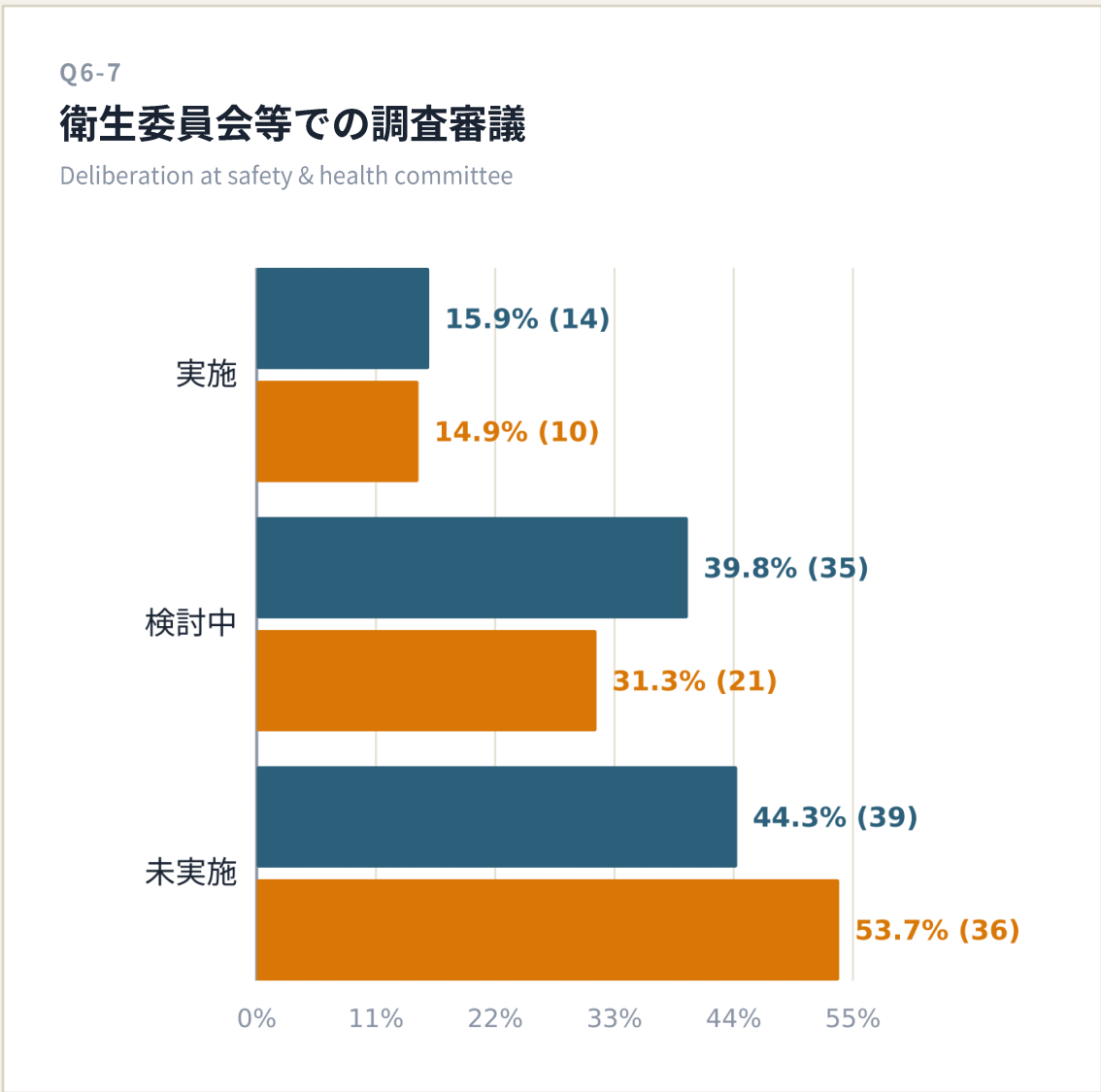
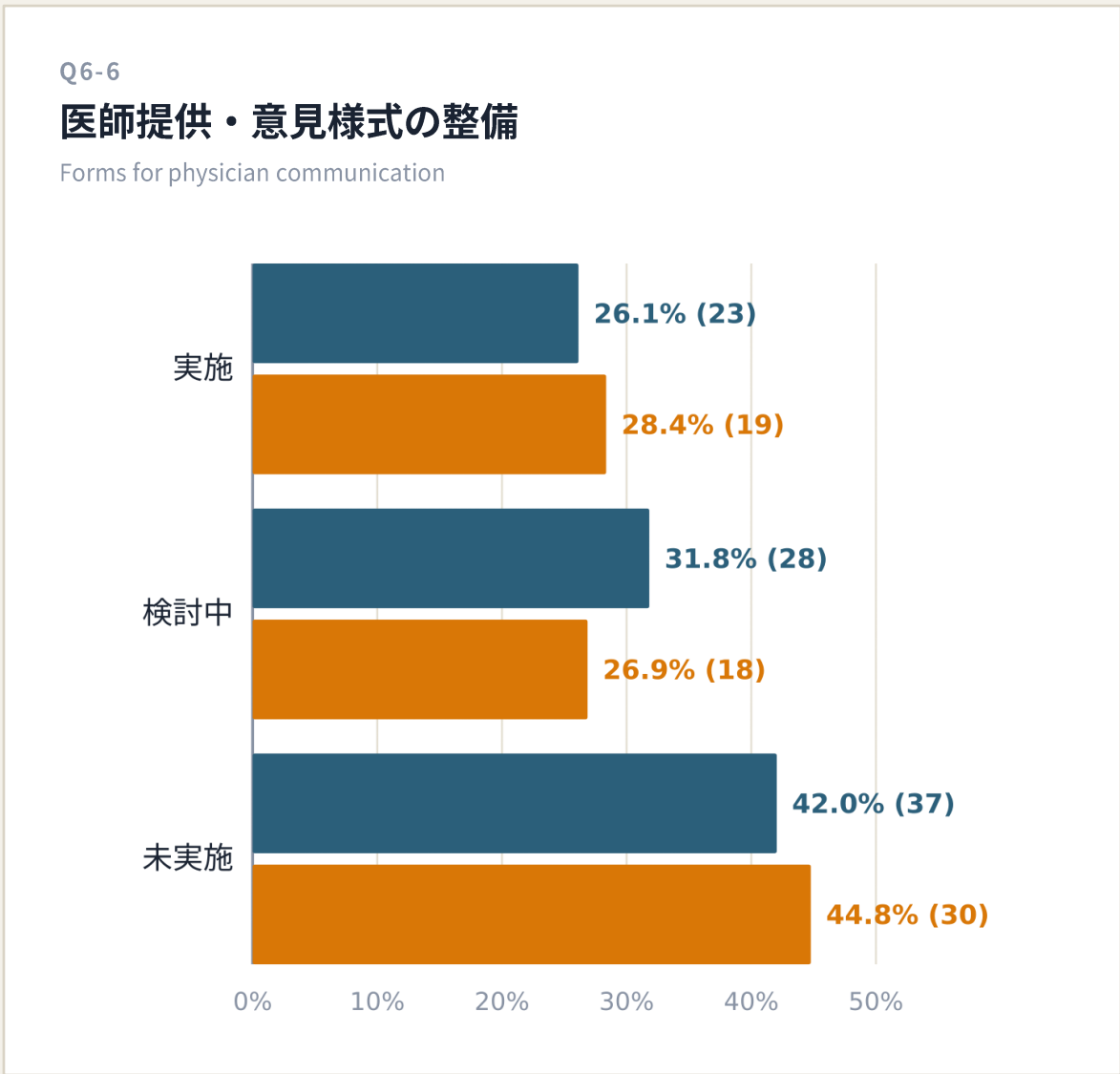
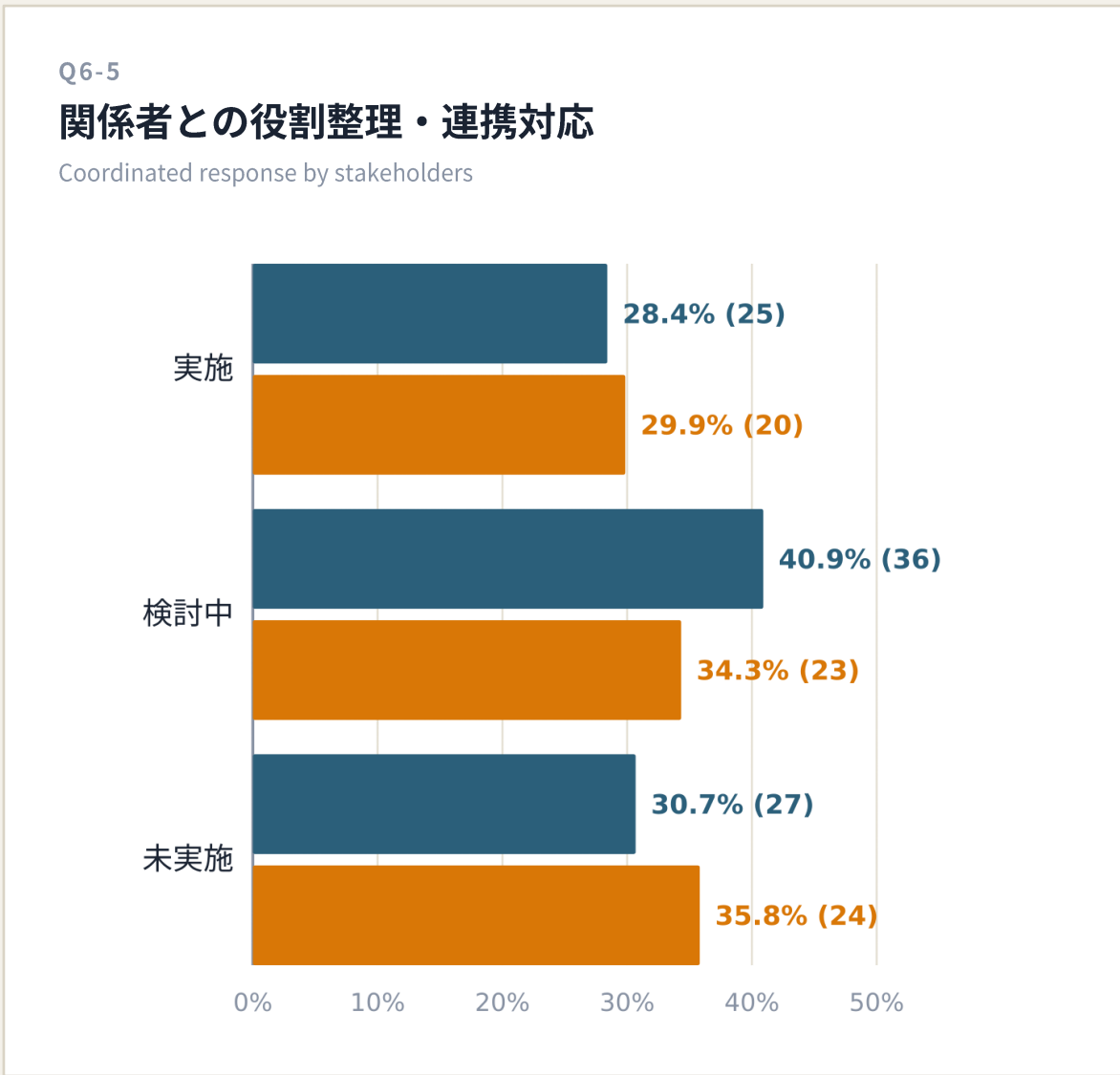
今後の伸びしろは「⑤ 在宅勤務」「④ 短時間勤務」に残る。

Q6-5 ～ Q6-7 COORDINATION

関係者連携・医師様式・衛生委員会審議

「実施」の比率は連携対応のみ上昇（28.4%→29.9%）、他2項目はほぼ横ばい。仕組み整備は依然過半数未達。

第1回 n=88      第2回 n=67

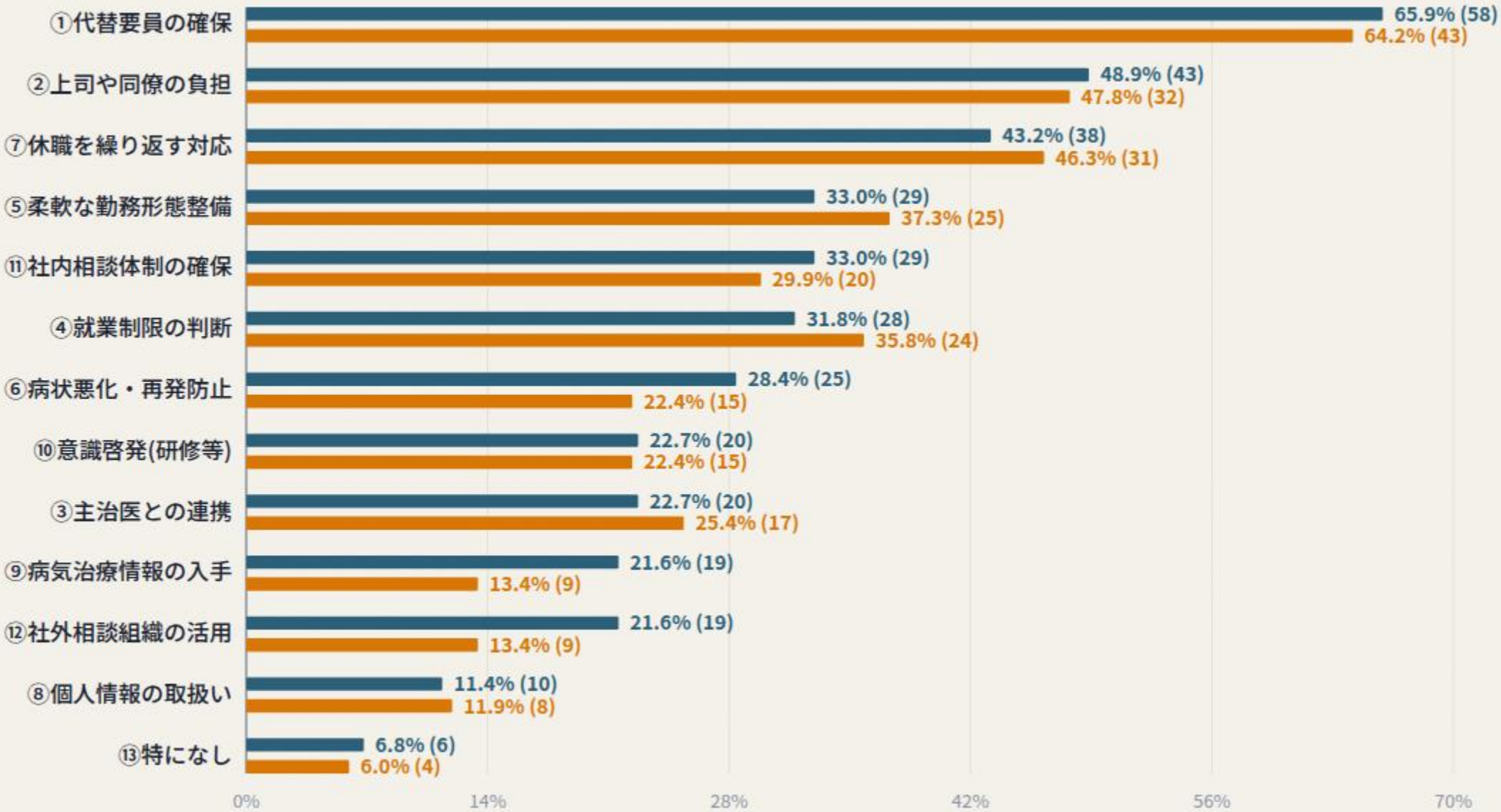


Q6-8 / Q10 PERCEIVED CHALLENGES

両立支援で困難・課題に感じていること（複数回答可）

両調査で「①代替要員の確保」が突出。第2回では「⑩意識啓発」比率が上昇し、教育ニーズが顕在化。

第1回 n=88      第2回 n=67



TOP 3 CHALLENGES

RANK 1

①代替要員の確保

第1回 65.9% → 第2回 64.2%

RANK 2

②上司や同僚の負担

第1回 48.9% → 第2回 47.8%

RANK 3

⑦休職を繰り返す対応

第1回 43.2% → 第2回 46.3%

「⑩意識啓発(研修等)」は22.7%→22.4%で横ばいながら、母数減少下でも維持。「⑫社外相談組織」は21.6% → 13.4%と減少。

Q8 & Q9 NEW ITEMS 第2回のみ

# 両立支援カード認知 ／ R8年4月 努力義務化認知

第2回で新設。努力義務化は65.7%が認知する一方、両立支援カードは64.2%が「知らない」と大きな差が出た。

Q8

治療と仕事の両立支援カードを知っている

Awareness of the "Balancing Support Card"

64.2% が「知らない」



使ったことがある 3.0% (2件) 存在は聞いたことがある 32.8% (22件) 知らない 64.2% (43件)

INSIGHT

実際に使ったことがあるのは 67件中わずか2件（3.0%）。周知そのものが今後の重要課題。

Q9

R8年4月から努力義務化を知っている

Awareness of the FY2026 employer-obligation change

65.7% が「知っている」



知っている 65.7% (44件) 知らない 34.3% (23件)

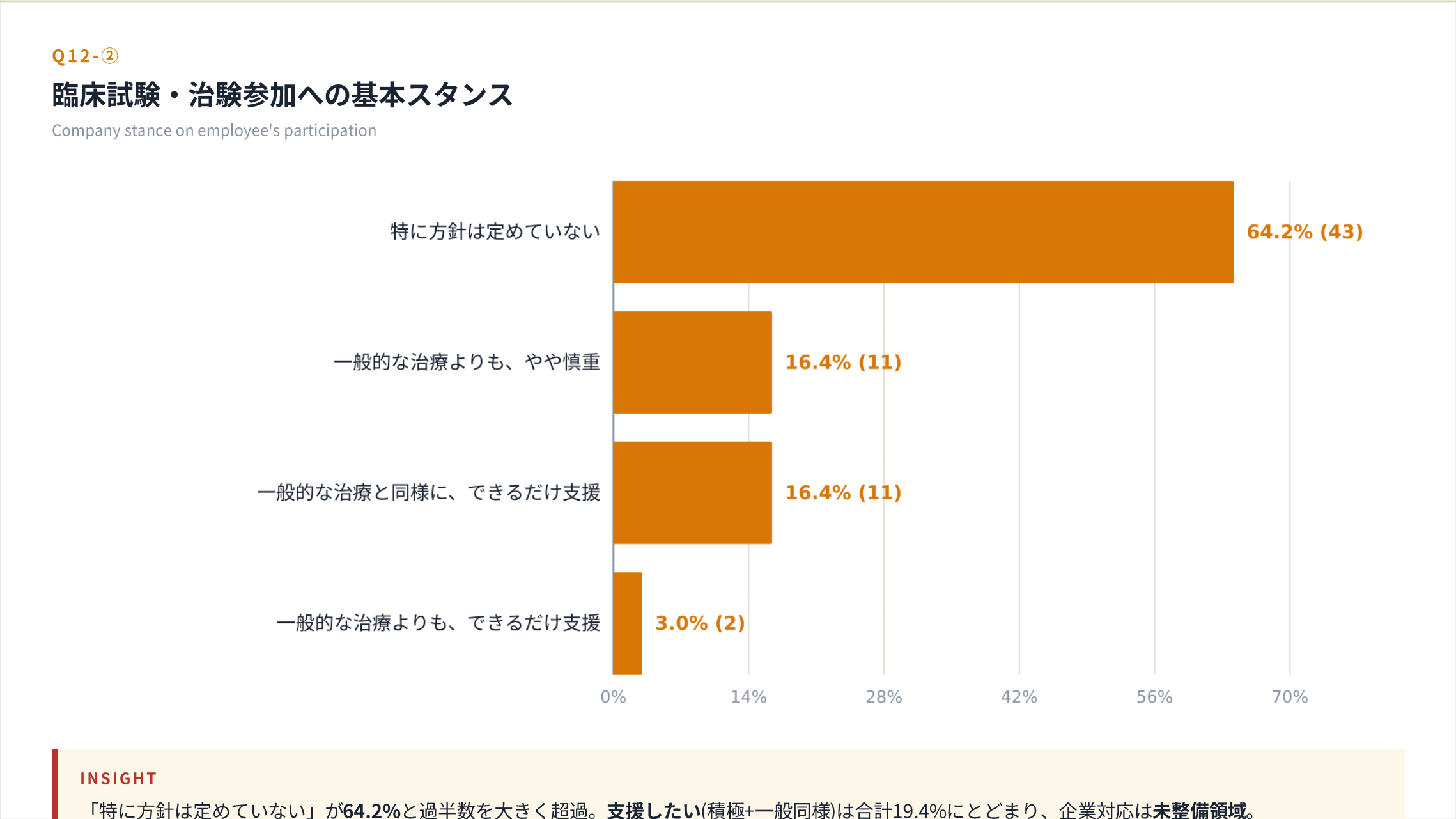
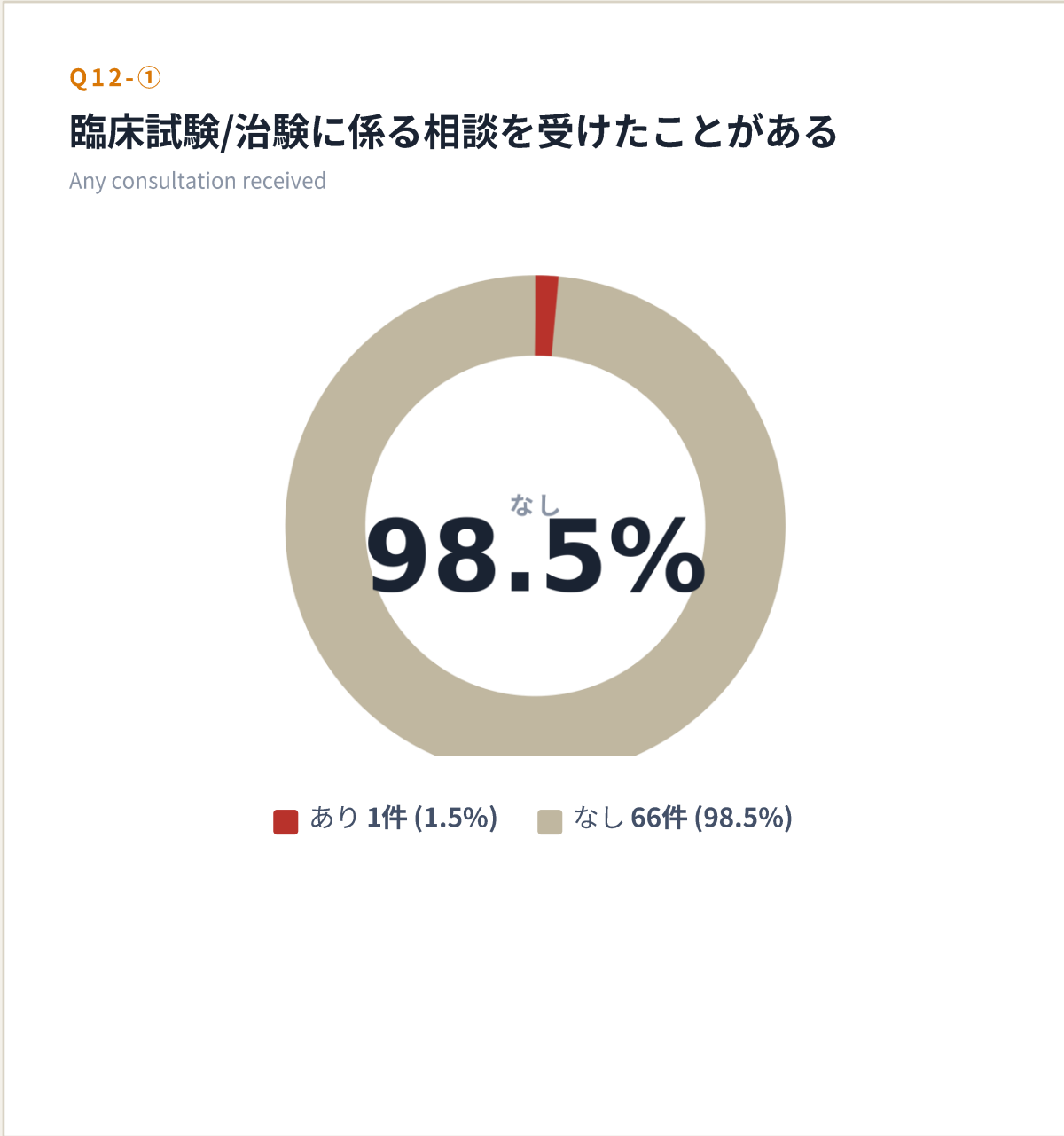
INSIGHT

3分の2以上が努力義務化を認識。制度変更への理解は進んでいるが、残る約3割への追加周知が必要。

Q12 CLINICAL TRIAL / 治験 第2回のみ

# 従業員の臨床試験・治験への対応

相談経験は67件中わずか1件（1.5%）。方針も64.2%が未定で、企業側の対応整備は未着手。



SUMMARY / KEY TAKEAWAYS

# 第1回 → 第2回 で見えた5つの変化

全17項目の比較から浮かび上がる、両立支援を巡る事業場の意識と実装の推移。

## 01 AWARENESS

### ガイドライン認知が大幅改善

「知らない」が**30.7% → 17.9%** (-12.8pt)。「内容を知っている」も**28.4% → 40.3%**と上昇。周知フェーズから実装フェーズへ。

## 02 SYSTEM UPTAKE

### 時間単位年休が実装へ移行

現在実施：**37.5% → 55.2%** (+17.7pt)。導入検討側は**36.4% → 22.4%**と減少し、検討ステージから実装へ。

## 03 PERSISTENT CHALLENGE

### 代替要員確保は依然最大の壁

「①代替要員の確保」が**両調査とも1位**（65.9%→64.2%）。中小規模事業場での構造的課題として継続。

## 04 NEW OBLIGATION

### R8年4月 努力義務化への準備が焦点に NEW

努力義務化を「知っている」**65.7%（44件）**。ただし両立支援カードは**64.2%が「知らない」**と乖離が大きく、実務ツールの周知が急務。

## 05 UNTOUCHED AREA

### 臨床試験・治験対応は未整備領域 NEW

相談経験**1.5%（1件）**、方針未定**64.2%**。ニーズは小さいが対応時に困らないための**指針づくり**が今後の論点。